

低臭

ピンホール防止、耐熱性に優れた下地調整材

フロンHRプライマー

エポキシ樹脂系下地調整材

JIS K 5970



日塗検
JP0308004
建物用床塗料 中塗り・下塗り
F★★★★

特長

ピンホール防止

ピンホール防止効果が有ります。

下地調整

ヘヤークラック処理、欠損部補修等。
フロン硅砂を適量混合することで不陸調整解決!!

密着性

改修時の下地調整に威力を発揮。

耐熱性

フロンフルトップと組み合わせれば耐久性・耐熱性UP!!

用途

1 臭気を気にする工場、倉庫等の床の下地調整材

2 ピンホールの発生が想定される床

容量・配合比

品名	容量			配合比 (重量比)	
	A液	B液	セット	A液	B液
フロンHRプライマー	16kg	4kg	20kg	4	1
	8kg	2kg	10kg		

乾燥性

温度	10℃	23℃	30℃
可使時間	30分(冬型)	30分(夏型)	25分(夏型)
上塗可能時間	18~48時間	12~48時間	8~48時間

※冬型:使用範囲5℃~15℃ 夏型:使用範囲15℃~35℃

旧塗膜に対する密着性

旧塗膜商品名	密着性
フロン50・55	○
フロンフルトップ	○
フロンエポローラー	○
フロンクイックF	○
エポエース	○
ソルエポ90	○
AUコート	○
パワフルフロアーII	○
フロンアクアエポ	○
アースフロンR	○
水性アースフロン	○
フロン22	×
ハイフロン	○
水性フロアー	○

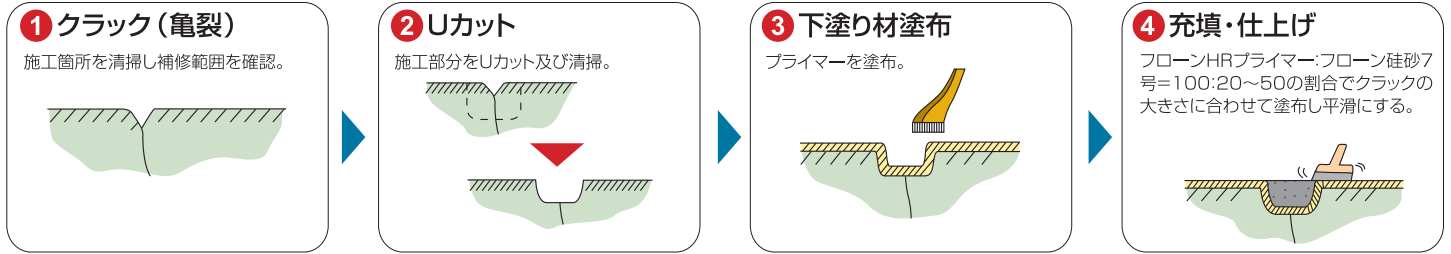
各商品の上塗り適性

商品名	適性
フロン50・55	○
フロンフルトップ	○
フロンエポローラー	○
フロンクイックF	○
エポエース	○
ソルエポ90	○
AUコート	○
パワフルフロアーII	○
フロンアクアエポ	○
アースフロンR	○
水性アースフロン	○
フロン22	○
ハイフロン	×
水性フロアー	×

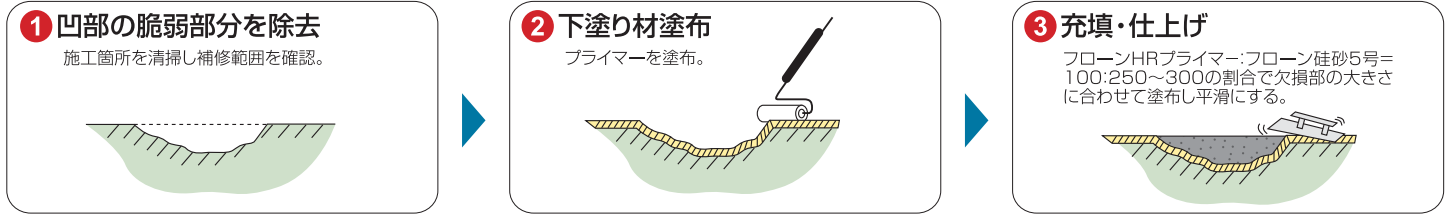
※塗り替え時は必ず旧塗膜をポリッシャー等で研磨して下さい。

クラックの処理方法例

1mmから3mm程度のクラック



欠損部の補修



用途 ピンホールの発生が想定される床

工法名	工程	材料名	使用量 kg/m ²	上塗可能時間 (23℃)	備考
	1	フロンプライマーH	0.15	2~24	A液:B液=1:1(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌後、中毛ローラーにて塗布。
	2	フロンHRプライマー フロン珪砂6号	0.4 0.3	12~24	A液:B液=4:1(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌したフロンHRプライマーを4に対し、フロン珪砂6号を3(重量比)の割合で、計量、混合し、金ゴテにて塗布。
	3	フロン55	1.5	24時間 (軽歩行開放時間)	A液:B液=8:1(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌後、角ゴテにて塗布。

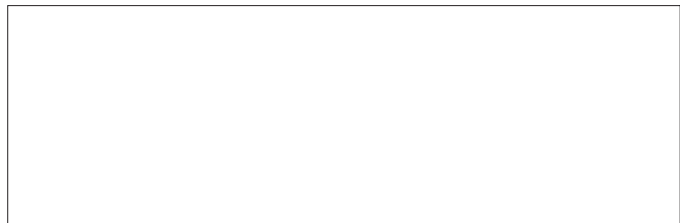
■ 施工上の注意事項 ■

- 下地は、砂、ゴミ、ホコリ等を完全に取除いて下さい。また、新設コンクリート、モルタルの表面には、レイタンス(遊離アルカリ)による脆弱層が形成されるため、密着不良の原因となります。必ず、ワイヤー付きポリッシャー等でレイタンス層を完全に除去して下さい。
- コンクリート・モルタルの養生不足は、水分の影響によりフクレ、硬化不良を、また、アルカリの影響により密着不良を招く場合があります。コンクリート・モルタルは打設後、常温乾燥で夏期3週間以上、冬期4週間以上の期間が必要です。目安として、含水率が高周波水分計ケット社製HI-500・HI-520で測定し、コンクリートレンジの表示値が5%以下、かつpH9.5以下になってから施工して下さい。また、降雨直後で下地が水分を含んでいる場合は、2日以上乾燥させて下さい。
- 旧塗膜がある場合は、旧塗膜の密着不良部分を除去して下さい。また、必ず下地調整を行ない、異物を除去して下さい。油泥、油汚れがある場合は、フロンオイルクリーナーで洗浄し、完全に取除いて下さい。
- 2液反応型ですから可使時間(ポットライフ)内に使い切るようにして下さい。23℃で30分です。
- 施工時の温度、施工面積、作業人数等を考慮して無駄のないように材料の配合をして下さい。
- ご使用になる環境は十分に考慮して適正な材料と施工法を決定して下さい。
- 気温5℃以下、湿度80%以上では施工しないで下さい。硬化時間、硬化後の性能は、施工時の温度に大きく影響されます。

10℃以下 硬化後退 (カブリ、しわ、軟化等発生)	15℃~25℃ 最適	30℃以上 硬化促進 (ポットライフ短縮)
---------------------------------	---------------	-----------------------------
- 常時、水を使用される部位については、あらかじめ下地モルタル等に水勾配をつけて下さい。
- 施工時は引火、爆発、中毒等の事故防止のため十分に換気をし、有機ガス用防毒マスク、保護メガネ、手袋等保護具を着用して下さい。発火原因となる電気溶接、ガス溶断との並行作業を避けて下さい。
- 直接皮膚に触れないよう十分に注意して下さい。もし触れた場合はウエス等で十分に拭き取り、中性洗剤で洗って下さい。
- 材料の保管、取り扱い、消防法、労働安全衛生法、その他に基づき十分な管理をお願い致します。
- 動植物に影響を及ぼす可能性がありますので、施工時および施工後の換気を充分に行なって下さい。
- 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時は、産業廃棄物として処理して下さい。

引火性あり	警告	有害性あり	感作性あり
	<ol style="list-style-type: none"> 引火性の液体である。 有機溶剤中毒の恐れがある。 健康に有害な物質を含有している。 皮膚に付着するとかぶれを起こす恐れがある。 変異原性の恐れがある。 		
業務用 《注意事項》1.通常の塗料に比べて幾分毒性が強く、吸入したり皮膚に触れたりすると中毒やかぶれ、また、重い健康障害を起こす恐れがありますので、取扱いについては、 容器に表示された注意事項を守って下さい。 2.アレルギー性等の特異体質、皮膚過敏症や呼吸器系疾患を有する人は、取扱いを避けて下さい。(呼吸困難や喘息を引き起こす恐れがあります。) ※詳細な内容が必要な場合には、製品安全データシート(MSDS)をご参照下さい。			

●お問い合わせは.....



東日本塗料株式会社



本社/〒124-0006 東京都葛飾区堀切3-25-18 TEL.03(3693)0851(代) FAX.03(3697)2306
 埼玉工場/〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-13 TEL.0480(65)1515(代) FAX.0480(65)1518
 札幌営業所/〒065-0043 札幌市東区苗穂町9-4-6 TEL.011(743)5271(代) FAX.011(743)5273
 仙台営業所/〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野1-4-20 TEL.022(291)7372(代) FAX.022(291)7320
 新潟営業所/〒950-0871 新潟市東区山木戸3-7-9 TEL.025(273)5749(代) FAX.025(274)6730
 静岡営業所/〒422-8037 静岡市駿河区下島128-1 TEL.054(238)8061(代) FAX.054(238)8063



※製品改良のため、予告なく仕様、性能、カタログ内容を変更する場合があります。
 ※諸官公庁等の特記仕様がある場合には、それを最優先して下さい。

URL <http://www.hnt-net.co.jp>

CATALOG NO.4 '10.10.3000